学校番号	３０９

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	精選古典Ｂ　新版（東京書籍） （第３年次では古文・漢文ともに第Ⅱ部を扱う）						
副教材等	・入試対策ベストセレクション古文単語 325（尚文出版） ・ビジュアルカラー国語便覧（大修館書店） ・改訂版　よむナビ古文３　　（いいずな書店） ・明快　これでわかる古典文法　（いいずな書店） ・明快　これでわかる古典文定着ノート（いいずな書店） ・古典文法　助動詞徹底ワーク　　（尚文出版） ・日本文学史　要点チェックノート　（文英堂）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１、２年次の文法事項の知識を踏まえた上で古典作品を味わいましょう。
・予習を行い授業後は必ず復習をし、知識をしっかりと身につけましょう。
・語彙力や文法知識が定着しているかどうか、提出物や小テスト等で確認します。
・提出物の期限は必ず守りましょう。定期考査に向けても常に計画を立て臨みましょう。

２　学習の到達目標

・古典の作品世界に触れ、伝統的な言語文化への興味・関心をもつことができる。
・本文の内容を叙述に即して的確に読み取ることができる。
・古典文学を読む楽しさを味わい、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにすることができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、伝統的な言語文化への興味・関心を広げようとしている。			文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。	伝統的な言語文化について理解している。
評価方法	行動の観察及び記述の点検 （ノート、プリント等）			行動の観察 記述の確認及び分析 定期考査	行動の観察 記述の確認及び分析 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	説話・日記を読む	教材: ・『十訓抄』 「成方といふ笛吹き」 ・『紫式部日記』 「女郎花」 『和泉式部日記』 「夢よりもはかなき世の中を」 『十六夜日記』 「駿河路」 文法:助動詞の識別	○			◎	○	a:説話文学に描かれている古人のものの見方や感じ方、考え方を理解しようとしている。 日記文学を読み、作者のものの見方や感じ方、考え方について考察している。 d:登場人物の描かれ方や話の構成に着目し、説話の特色を理解しようとしている。 さまざまな日記文学を読み、作品の内容や特色について理解しようとしている。 e:助動詞の基本的な知識について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:行動の観察 e:記述の確認及び定期考査、小テスト
	史伝を読む	教材: ・『十八史略』 「赤壁之戦」 文法:漢文の句法	○			◎	○	a:それぞれの場面に描かれた人間像を読み比べようとしている。 d:登場人物の言動や心理などを的確に読み取り、想像することができる。 e:漢文の基本的な句法・語法を理解している。	
2学期	物語・を読む	教材: ・『源氏物語』 「須磨の秋」 「萩の上露」 文法:敬語法・助動詞・助詞の用法	○			◎	○	a:場面設定や自然描写に着目しながら、登場人物の心情を捉え、物語の世界を読み味わおうとしている。 d:作品の、古典における位置づけや普遍的価値について考察する。 e:形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。基本的な敬語法について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:行動の観察 e:記述の確認及び定期考査、小テスト

	評論を読む	教材: ・『無名草子』 「清少納言」 「紫式部」 ・『風姿花伝』 「年来稽古茶々」 文法:助動詞・助詞の用法	○			◎	○	a:さまざまな評論を読み、論旨を的確に捉える。 d:評論に表れている古人のものの見方や感じ方、考え方を理解する。 清少納言・紫式部について記されている内容を読み取る。 能楽の用語に注意しつつ内容を的確に読み取っている。 e:『無名草子』・『風姿花伝』について作者、作品のおおよそについて知る。	
3学期	俳諧・思想を読む	教材: ・『去来抄』 ・『諸子百家』 文法:助詞	○			◎	○	a:俳文や発句を読み、そこに読み込まれた情景や心情を捉える。 『諸子百家』の文章を読み、政治を巡るそれぞれの思想を読み取ろうとしている。 d: 去来・芭蕉の論を理解しようとしている。 『諸子百家』の思想の違いを知り、ものの見方、考え方を豊かにしている。 e:『去来抄』の概略を聞き、芭蕉と去来、俳論と発句の関係を理解する。 教科書の「中国文学史年表」や便覧、世界史の教科書などを有機的に結びつけ、ノートにまとめている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:行動の観察 e:記述の確認及び小テスト、レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力

c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。